

最新の製品の安全対策セミナー 2024後期のご案内（無料）

- 30年ぶりのPL法改正の方向性とそれを受けた流通小売の動向
- 海外での食品トレーサビリティ要求の最新情報
- 製品を「包装」「保管」「出荷」が新たな責任主体に！

最善の品質管理をしても品質不良のトラブルは必ず生じ、物流自動化で自主回収が間に合わず、時に重大な問題に発展しています。
一方、その問題も製品（食品）トレーサビリティの範囲を拡大し、B2Cまで行えれば重要な情報を直接垂製品所有使用者に伝えることが可能になります。
まずは、今世界で起きていることを知ってください。その影響は来年には国内でも避けて通れなくなります。

出荷後の安全確保と円滑なん物流や小売の自動化を知ることから、これまでの自社サプライチェーンの効率化と販路からの信頼性、さらにリコールなどの際も消費者の協力を得て成功することも可能になります。

まずは、現場と経営が協力してこれまでの取り組みの見直し改善を進めましょう。

セミナー（無料）

12月10日（火）10:30～12:00
（質疑はそれ以後）
zoomハイブリッド

無料セミナー申し込みは



<https://apl.or.jp/?p=5901>

製品の安全を
製造側だけに
任せていませんか？

安全は情報



出典元
<https://www.m-keiei.jp/musashinocolumn/keieisya>

出荷後の
信頼性確保

高品質な物を無駄なく
生産するためのTQM



B2B2Cの
トレーサビリティが
求められます。

補助金・助成金などで負担を軽減し、超スマート社会での働きやすい、収益率の向上、何よりも経営負担を軽減する社内改革を進めましょう。ご案内は日本で唯一の製造物責任の専門団体です。



一般社団法人 APL-Japan

本部：〒173-0013 東京都板橋区氷川町47-4 アビタシオンK 1F

事務局：〒982-0823 宮城県仙台市太白区恵和町35-28

TEL：050-6865-5180 FAX：022-247-8042 Email office@apl.or.jp

<https://apl.or.jp>